

リアル開催のみ
限定 1,071名

就労支援フォーラム NIPPON 2023

迷える者たちの大反省会。
新しい風とともに

th

2023.12.16 [SAT]
- 12.17 [SUN]

ベルサール渋谷ファースト in 東京



10年目は「リアル」開催のみ 会場でお会いしましょう

2014年の初開催以降、事業所、企業、自治体、行政、医療、研究・教育機関など、就労支援にかかわるキーパーソンがさまざまな議論を続けてきた「就労支援フォーラムNIPPON」は、今年で10回目を迎えます。この10年のできたこと、積み残したままであること、新たな課題となっていることを共有し、取り組みを加速させることを目的に、今年も12月に開催します。なお、今回は、オンラインでのライブおよびアーカイブの配信は行いません。2日間、新会場「ベルサール渋谷ファースト」にて、直接・対面で徹底的に議論を戦わせ、交流を深め、全力で未来へ進みます。

日本最大の障害者就労プラットフォーム「就労支援フォーラムNIPPON」。2014年から毎年12月に東京で開催し、延べ2万人以上の参加者による議論や交流を通じて、現場に、国に、具体的な改善を働きかけています。10年前、第1回のオープニングプログラムは、厚生労働事務次官(当時)村木厚子さんの特別講演「障害者就労のグランドデザイン～ふつうにはたらく、ふつうにくらす～」でした。そこから始まった本フォーラムは、講演、シンポジウム、分科会、ポスターセッション、プレゼン企画、テレビ番組収録、スマホアプリの活用やライブ配信など多様な手法をとりいれながら開催を続けています。過去のプログラムは公式サイトでご覧いただけます。

全体会

PLENARY SESSION

基調ディスカッション

12.16 [SAT] 13:55-14:45

なぜ？ どうして？ 障害当事者から見る支援と雇用

初企画となる障害当事者による障害当事者だけのセッションです。支援者に発言機会の多いフォーラムですが、当事者の話をしっかりと聞かなければならないといつも考えてきました。ただ、それらは体験談の一つとして聞き流されたり、なんとなく温かい雰囲気に含まれただけという企画になりがちです。ようやく、耳の痛い指摘をキッパリと言ってもらえる当事者の方々に集まってもらうことができました。明るく緊張感のある時間となることを期待しています。

[登壇者]



尾仲希代



砂長美ん



増本裕司

行政説明

12.16 [SAT] 15:00-15:45

この10年を振り返る。そして法改正と報酬改定

障害者自立支援法以降の成果と課題感をふまえ、法改正など国の障害者就労支援に関する最新の動向、次年度の予算関連についてお話いただくほか、3年ぶりの報酬改定の方向性について可能な範囲でお話いただけます。



[説明] 伊藤洋平

パネルディスカッション

12.16 [SAT] 15:50-16:30

大反省会イントロダクション～移行・継続・企業

就労支援の現状に対する大反省と改善を主テーマに各種議論を繰り広げる2023フォーラム。少し距離を置いた研究や報道の視点から、この業界がどう映っているのか（違和感、失望、期待……）を厳しく伝えていただくとともに、率直な提言、提案をいただき、2日目の分科会「大反省会と改善計画」につなげます。

[パネリスト]



田中佑樹



市川亨



藤田和恵

基調講演

12.16 [SAT] 13:15-13:50

それでいいのですか？

～高校3年生の私が障害者就労支援について考えてみたこと～

現状の障害者就労に違和感を抱き、企業や施設、関係団体を訪問、さらには大学教授らに果敢にヒアリングを重ねる現役高校3年生。正確に現状を捉え、関係者に改善策を提案するその姿勢は、私たちが聞くべき内容に溢れています。私たちの実践は、高校生というごく一般から見てどう映っているのでしょうか？ 真っ直ぐに語りかけていただき、真っ直ぐに受け止めたいと思います。



[講演] 野添葉音

特別講演

12.17 [SUN] 14:30-15:00

No Charity, but a Chance! ～Road to Taxpayer～

1964年のパラリンピックの立役者であった故中村裕医師は、「No Charity, but a Chance! “保護より機会を!”」を掲げ、太陽の家を創設、誰より障害者の可能性を信じた日本人でした。時を経て、我が国が実現したこと、進化したこと、もしかしたら退化したかもしれないこと、さまざまな現実があります。1964から2020を経て、今一度、その理念と実践に触れ、今後の座標を得たいと思います。



[講演] 山下達夫

パネルディスカッション

12.17 [SUN] 13:30-14:30

政治家セッション

政治家が揃うと、当たり障りのない議論になりがちですが、可能な限り踏み込みたいと思っています。テーマとなるのは、介助付き就労、法定雇用率、優先調達といったあたりか。予定調和にさせない1時間。最大限、今後の障害者就労支援施策に対する各党各議員の考えを引き出します。炎上必至か。

[パネリスト]



宮路拓馬



横澤高德



金村龍那



天島大輔

パネルディスカッション

これまでの10年、これからの10年 12.17 [SUN] 15:00-15:45

フォーラム最後のプログラム。この10年を疾走し、これからの10年を展望する先駆者2名と、現場の息遣いを丁寧に伝える役割を通して目撃者となってきた方による振り返りに留まらない未来企画です。さあ、どんな未来を描くことができるか？

[パネリスト]



竹中ナミ



夏目浩次



里見喜久夫

12.16 [SAT] 13:00-19:30 | 12.17 [SUN] 13:30-16:00

就労支援のキーパーソンが全国から結集! 全員一丸の議論で力強く前進します

プレゼンテーション

12.16 [SAT] 16:45-19:30

「新化・進化・深化」をテーマに応募のあった中から審査によって選ばれた7題のプレゼンテーションは、身近な取り組みから見えるヒントとアイデアを自身の事業に活かしていただくことが一番のねらいです。何が選ばれるか? 選考結果が出るまでわかりませんが、「現場感がある。聞き逃してはいけないもの」ということだけは間違いありません。ピックアップ「説明できる支援」も要注目!

プレゼンテーション企画へのエントリーを募集します

応募 ————— A4片面1枚の「抄録」をお送りください

募集対象

- 今年のテーマは「新化・進化・深化」です
- 便宜上の分類として、カテゴリーをいくつか示しますので、参考にご覧ください
- ただし、下記に含まれないものや、複数のカテゴリーを横断する取り組みも大歓迎です

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| ◎ 工賃・賃金向上 | ◎ 重度障害者に対する就労支援 | ◎ 職場定着率の向上 |
| ◎ 医療と就労支援との連携 | ◎ 一般就労促進 | ◎ 発達障害に特化した支援 |
| ◎ 家族支援 | ◎ 支援人材育成 | ◎ 新業態の開発 |

応募方法

- 事業所の紹介や取り組み内容を要約した「抄録」を作成して、ご応募ください ※「抄録」は当日の資料集に掲載します
- 「募集要項」(抄録様式付き)を公式サイト【hataraku-nippon.jp/forum-2023】でダウンロードして必要事項を記入のうえ、募集要項に記載の方法で送付してください



募集期間

2023年10月25日(水)～11月15日(水)
26日(日)

発表 ————— 12/16 (土)に10分間のプレゼンテーション

発表までの流れ

- 募集期間終了後、日本財団で選考し、選考結果を通知のうえ、発表者には、発表方法の詳細を記載した発表要項を送付します
- 事前にパワーポイントでプレゼン資料を作成していただきます(16:9サイズで書式は自由。シートは20枚まで。動画の使用は不可)
- 発表方法や事前の準備については、運営事務局がサポートします

発表当日

- プレゼンテーション企画で発表していただきます(応募から選ばれた7題を想定)
 - 発表は各10分間、その後、進行役や発表者同士によるセッションや参加者との質疑応答を行います
 - 発表は複数名で行うことが可能です
- ※ただし、発表者1名以外は「就労支援フォーラムNIPPON 2023」への参加申込が必要です
※また、発表者1名のみ「ベルサール渋谷ファースト」までの旅費交通費(原則として実費)を支給します

7題に選ばれなかった応募についても、会期中および公式サイトで、動画や資料等によって発信していただける機会を用意する予定です
(応募総数や内容等により選考させていただく可能性があります)

大反省会と改善計画

12.17 [SUN] 9:00-10:30

①～④は4会場でも同時進行/定員あり/事前登録制。フォーラム参加申込時、参加希望のプログラムをご登録ください。

1

就労移行支援・定着支援

はたして“移行”はできているのか？

障害者自立支援法（現・総合支援法）で新設された就労移行支援事業は、障害者を福祉施設に留め置かないという国としての覚悟を感じさせる制度として受け止められるものでした。この間、雇用数は伸び続けていますが、まだまだ移行させられない、定着に至らない等の事業者は多く、課題は少なくありません。反省をふまえ、これからの就労移行のあり方を現場中心で協議します。



堀江美里



鈴木康弘



野路和之



金塚たかし

[進行]

2

就労継続支援A型

A型の功罪を考える、
A型の未来はどうなるのか？

障害者には救いのはずだった制度のA型。しかし、A型制度ができて数年後、「悪しきA型」という言葉を生み出し新聞をにぎわせてきました。もちろん障害のある人たちを第一義に努力し続ける事業所もたくさん存在しています。まさに玉石混交の事業所が存在しているなか、A型は本来どうするべきだったのか？ どうしてそのような事業所が生まれるのか？ 等々、さまざまな立場で議論していただきます。



藏座弘志



関原 深



藤田和恵



中崎ひとみ

[進行]

3

就労継続支援B型

そこは経済活動なのか？ 居場所なのか？
B型の存在意義を問う

2014フォーラムで共有された低工賃への課題意識は、高工賃へのチャレンジを生み出し、好事例が報告され続けています。一方、増え続けるB型事業において、達成されない事業者との明暗がさらに鮮明になってきています。障害者にとって工賃とは何か？ いや、そもそもB型施設とは何なのか？ この時代にあっても必要なのか？ について炎上必至で議論します。



高橋清子



中島香織



大坪隆成



三善史博

[進行]

4

企業就労

企業就労の直近10年を徹底分析、
はたして戦力化はできたのか

企業での障害者雇用は確実に増えました。それが、障害者雇用率の上昇理由であることは言うまでもありません。しかし、数値ではなく肉声からは、悲鳴にも似た障害者雇用の実態も浮き彫りになっており、裏付けるように代行ビジネスなども“活躍”する状況です。このセッションでは、企業就労の直近10年を徹底分析、はたして戦力化はできたのかを真摯に反省、今後の方向性について議論します。



高橋陽子



中尾文香



足立興治



上田庸司



白砂祐幸



今野雅彦

[進行]

新しい風

12.17 [SUN] 11:00-12:30

⑤～⑧は4会場で同時進行／定員あり／事前登録制。フォーラム参加申込時、参加希望のプログラムをご登録ください。

5

海外

データ活用で100を超える事業所経営
と就労支援を両立

～イスラエルから世界に広がる実践を学ぼう～

「Shekulo Tov」は人口1千万人に満たないイスラエルにおいてカフェ、古着屋、古本屋、犬の散歩代行サービス、ギフトショップを合計100以上運営しています。独自に「統合型ユニットモデル」を開発し、店舗売上・利用者の能力向上・就職先開拓など相反しがちな目的について、データを活用して意思決定しています。なお、同モデルは「国連Zero Project Award」や「IAUD国際デザイン賞」を受賞し他国展開もしています。本セッションでは同モデルを現場目線で深掘りし、そのノウハウをお伝えします。



Offer Cohen



Ophir Peleg



石川陽介

[進行]

6

デジタル

想像もしなかった創造を就労支援に
取り入れてみないか？

デジタル業務と障害者就労支援は、少しずつ広がり始めた感がありますが、今回取り扱うデジタルは、先端どころかまだまだ異端な取り組みの範疇です。ゲームを通じた就労能力の成長支援と暗号資産等の獲得という新たな事業は、現場に変革をもたらすかもしれません。いち早く、その事業の可能性を探ってみませんか？※なお、PRがにぎやかな「障害者にゲームさせて、給付費を稼ごう」の類とは一線を画します。



吉田直人



濱野 剣



遠藤千冬

[進行]

7

脱福祉型就労支援

就労継続支援B型から脱却し
直接雇用に向かうというチャレンジ

工賃1万円から法定最低賃金を得られるようになり、B型はもとよりA型でもなく公費を要さない一般就労の状態を支援的な空間で実現できるようになったとしたら、反対する人はいないはず。それを実現しようとしている法人が宮城県にあります。一方、その思いはありながらも逡巡する法人はどこに限らず、多く存在します。その決断と迷いに迫ります。



白石圭太郎



小玉圭一



山田奈緒



竹村利道

[進行]

8

WORK! DIVERSITY

多様な困難者への就労支援
『WORK! DIVERSITY』だからできること

～支援現場の事例から～

「WORK! DIVERSITY」は、障害者就労支援サービスを多様な困難者に適用する、縦割りから横申しへの施策提案。議論から実装へ、現在、4自治体にて実証実験が開始されています。現場の実例や具体的な状況を把握し、その推進により社会にどのような変化を生み出せるのかを考え、実施自治体を拡大する契機とします。



眞保智子



橋本一磨



中村信二



島田将太



後藤千絵

[進行]

就労支援フォーラム NIPPON 2023

迷える者たちの大反省会。～新しい風とともに～

開催概要

- [日時] 2023年12月16日(土) 13:00-19:30 | 2023年12月17日(日) 09:00-16:00
- [会場] ベルサール渋谷ファースト(東京都渋谷区東1-2-20 住友不動産渋谷ファーストタワー B1・2F)
- [対象] 全国の障害者就労支援事業者、企業、医療従事者、障害当事者・家族、行政、
そのほか障害者就労支援にかかわる関係者・機関
- [主催] 日本財団
- [後援] 厚生労働省(申請中)
- [定員] 1,071名(会場参加のみ。オンライン配信はありません)
- [参加費] 8,000円(消費税込)



お申し込み

- [申込方法] インターネットでの事前申込のみとなります。詳細は下記サイトでご確認ください
- ※1 | 参加申込Webサイト <https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/forum2023>
- ※2 | フォーラム公式サイト (<https://hataraku-nippon.jp/forum-2023>) にもリンクがあります



- [申込期間] 2023年11月16日(木) 17:00まで
26日(日)



例年、申込締切日を待たずに満員となりますが、今年は特にリアル(会場)開催のみで定員が非常に限られており、早い時期から参加申込が殺到する見込みです。くれぐれもお早めにお申し込みください。

お問い合わせ

- [運営] 就労支援フォーラムNIPPON 2023 事務局(東武トップツアーズ株式会社 官公庁事業部)
〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル 18F
[TEL] 050-9014-8426 / 050-9014-8423 (9:30-17:30 ※土日祝休業)
[メール] forum_nippon@tobutoptours.co.jp
[担当] 尾崎・藤堂・萩原・坂本・高橋



「就労支援フォーラムNIPPON」は、新しい就労支援の取り組み「日本財団はたらく障害者サポートプロジェクト」の1つです。本プロジェクトは、いま絶対に乗り越えなければならない課題と、それらに対する出口として具体的な解答やビジョンを示し、着実に実行することによって、障害のある人の「はたらく」を全力で応援します。詳細は公式サイトをご覧ください。



hataraku-nippon.jp